

2019年度 第1回細胞検査士会役員会 議案書

日時：第60回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
2019年6月7日（金曜日） 15:00~16:00
場所：京王プラザホテル 本館43階 コメット

- I. 開会 p 1
- II. 会長あいさつ
- III. 議事録確認：平成30年度細胞検査士会第2回役員会議事録案
- IV. 報告事項
 - 1. 物故会員
 - 2. 平成30年度第1回委員長会議
 - 3. みなし決議「2019年度事業計画及び予算書」
 - 4. 2019-2020年度役員選挙結果について
 - 5. 2019-2020年度委員会について
 - 6. その他
- V. 議案 p 2
 - 1号議案：平成30年度事業報告及びこれに伴う収支決算書
 - 2号議案：その他
- VI. 確認・検討事項 p 19
 - 1. 2019-2020年度監事候補者について
 - 2. 渉外委員会の小委員会設置について
 - 3. 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策について
 - 4. その他
- VII. 資料
 - 【資料1】確認：平成30年度細胞検査士会第2回役員会議事録案 p20
 - 【資料2】報告：細胞検査士会「2019年度事業計画及びこれに伴う予算書」 p25
- VIII. 閉会

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 平成30年度細胞検査士会第2回役員会議事録案の確認

【資料 1】 p20

IV. 報告事項

1. 物故会員：

会員区分	JSC番号	お名前	逝去日
正会員	3016	宮川 潤 様	2019/04/23
準会員	4603	野本 清明 様	2018/01/20
	5657	井上 陽一 様	2018/03/03
	9130	竹田 佳織 様	2018/11/06
	1191	稲本 和男 様	2018/11/13
	3456	吉岡 均 様	2018/11/25
	4142	遠藤 三佳 様	2019/03/28

2. 平成30年度第1回委員長会議

- 1) 「2019年度事業計画及びこれに伴う予算書」を役員会みなし決議案とする。
- 2) がん検診委員会は常置委員会とせず、渉外委員会の小委員会とし、渉外委員会内規に定め、
 - ① 第60回日本臨床細胞学会総会でパネル展示（啓発・調査）
 - ② 第58回日本臨床細胞学会秋期大会でパネル展示
 - ③ 他関連団体で啓発活動の実施 などを予定する。
- 3) 都道府県代表者懇親会を春の学会で計画する。
- 4) 50周年記念事業費の残余金は決算書で提示する。
- 5) 2020年日台韓検査士合同セミナーは予定せず、秋の学会で国際フォーラム等を企画する。
但し、学会参加費など検討する必要がある。
- 6) 会員パスワードは会報には常に掲載する。
- 7) 役員会議案書を細胞検査士会HPに早めに掲載できるように

3. みなし決議「2019年度事業計画及びこれに伴う予算書」

【資料 2】 p25

- 1) 議案：「2019年度事業計画及びこれに伴う予算書」
- 2) 幹事：45名、監事：1名 3) 議長：平田総務委員長 4) 検討期間：2月13日(水)～28日(木)
- 5) 採決期間：3月4日(月)～9日(土)12時まで
- 6) 役員会決議があったとみなされた日：3月11日(月)
幹事全員から賛成を得るとともに、監事からの異議が無いことを確認し、役員会運営に関する細則第5条2より、役員会決議があったとみなされた。

4. 2019-2020 年度役員選挙結果について

会長：伊藤 仁 副会長：阿部 仁、小松 京子

いずれも、無投票当選、異議申し立ては無かった。

5. 2019-2020 年度委員会構成について

6. その他

V. 議案

第 1 号議案：細胞検査士会平成 30 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

2019 年 4 月

細胞検査士会
平成30年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

公益社団法人日本臨床細胞学会

細胞検査士会会長 伊藤 仁

【2018年度（平成30年度）事業報告】

1. 会長 伊藤 仁

最初に、長年、細胞検査士会の役員を歴任し、本年度も監事をお努めいただいていた上野喜三郎氏が2018年7月2日、任期途中でご逝去された。当会としては誠に痛恨の極みであり、心からご冥福をお祈り申し上げます。また、上野監事亡きあと、お一人で監事の職責を担い、業務を遂行いただいている片岡秀夫監事に厚く感謝申し上げます次第である。

本年度は、2019～2020年度の細胞検査士会役員選挙および日本臨床細胞学会理事選挙が行われた。また、2018年4月の理事会において、2020年の日本臨床細胞学会秋期大会を初めて細胞検査士（伊藤仁）が主催することが決定した。

1) 細胞検査士会役員選挙

平成30年8月、才藤純一氏を委員長とする選挙管理委員会が設置され、平成31年度～32年度の細胞検査士会役員選挙が行われた。幹事選挙は平成30年11月3日、本臨床細胞学会事務所地下2階会議室において開票が行われ、立候補者34名のうち、30名が選出された。引き続き会長、副会長選挙が行われ、会長立候補者は伊藤仁1名、副会長立候補者は阿部仁氏、小松京子氏の2名で無投票当選となった。

前回の役員選挙同様、各都道府県細胞検査士会のご協力により、役員選挙が滞りなく行われた。多忙な中、大変な実務作業を行った才藤純一委員長をはじめとする選挙管理委員会および各都道府県細胞検査士会の皆様方のご協力に心より御礼を申し上げます。

2) 日本臨床細胞学会評議員選出および理事選挙

細胞検査士会役員選挙とほぼ並行して、平成31年度～32年度の日本臨床細胞学会評議員選出、理事選挙が行われた。評議員は業績順に445名（正会員の8%以内）が選出され、そのうち細胞検査士は96名であった。引き続き行われた全国区理事選挙および地方区理事選挙が行われ、34名の理事が選出された。その中で細胞検査士は、前同様全国区で当選した伊藤仁、小松京子氏、石井保吉氏の3名であった。全国区、地方区合わせて34名選出された中で、わずかに3名であり、学会運営の側面からはまだまだ少なく、今後さらに細胞検査士会が一丸となり、理事を輩出することが重要である。

3) 日本臨床細胞学会の事業

2013年第66回より、日本臨床細胞学会細胞検査士ワークショップの実施委員長を細胞検査士が務めるようになり、本年度も小松京子実施委員長が東京で第76回ワークショップを、小川勝成実施委員長が広島で第77回細胞検査士ワークショップを開催した。細胞検査士教育セミナーおよび細胞検査士養成講習会（2週間コース）は2007年から細胞検査士が実施委員長を務めており、今年も第75回セミナーを加藤拓実施委員長および第76回セミナーを阿部英二実施委員長が担当し開催された。また、本年度で第127回となった細胞検査士養成講習会は昨年同様私が実施委員長を担当した。現在、すべての事業が順調に企画・運営され、盛会となっており、実績を確実に積み重ねつつある。特に関東の教育セミナーは、一昨年からパシフィコ横浜メインホールを毎年ほぼ同一時期に借りるよう交渉したことにより、安定した開催が可能となっている。昨年は参加費が9000円に値上げされたにもかかわらず、募集人数（約1000人）を大幅に上回る約1500名あまりの参加希望があったため、パシフィコ横浜と交渉の上、急遽、500名のサテライト会場を設置し対応した。また、細胞検査士養成講習会（2週間コース）の申し込みは昨年度よりは少なかったが、定員40名の募集を上回る60名の申し込みがあり、堅調である。細胞検査士資格試験も総じて近年増加傾向に

あり、今後、なんらかの対策を講ずる必要性が生じるかもしれない。

4) 公益活動

細胞検査士会が全国の各都道府県細胞検査士会の協力を得て推進している Love49 による子宮頸がん検診の啓発事業に関して、本年度も 47 都道府県すべてが参加した啓発活動が行われた。本活動に関しては、子宮頸がんを考える市民の会より、街頭活動の配布資料であるニュースレターの作製費等について、経済的に厳しい状況が続いており、来年度の作製に関しては不透明であるとの連絡を受けている。今後の活動については、日本臨床細胞学会と相談しながら、予算を含めた活動の見直し等を現在検討中である。

5) 委員会活動

委員会活動については、各委員長による詳細な報告があるので参照されたい。

6) その他

日本臨床細胞学会の会員数は 2019 年 3 月 5 日現在、正会員 5,645 名（医師正会員 4,526 名、技師正会員 1,119 名）、細胞検査士会員 7,739 名（正会員 1,113 名、準会員 6,616 名、功労会員 10 名）である。細胞検査士正会員割合は、細胞検査士全体のわずか 14% であり、横ばい状態が続いている。日本臨床細胞学会が公益社団法人化され、学会内では医師会員も技師会員も同等であるとされているにもかかわらず、細胞検査士の大部分は準会員を選択しているのが現状である。細胞検査士が誕生してから 50 年以上が経過している。言うまでもなく細胞検査士資格は日本臨床細胞学会が認定している資格であるが、多くの先人の細胞検査士の努力によって、ここまで高められてきたものであり、その資格や認定にもっと細胞検査士が深く関与する必要があると考える。私たち細胞検査士は、日本臨床細胞学会を学ぶ場、発表する場、とするだけではなく、自分たちの資格は自分たちで創ることができるように日本臨床細胞学会の運営に積極的に関与していく必要がある。そのための第一歩が正会員であり、まずは正会員増加への取り組みが重要である。

2. 総務委員会

委員会業務分担要綱に基づき、当会の円滑な運営に努めた

1) 事業計画・予算書の作成と管理

「2019 年度事業計画及びこれに伴う予算書」案作成と役員会みなし決議（2019 年 3 月）

2) 事業報告・決算書の作成と管理

「2017 年度（平成 29 年度）事業報告及びこれに伴う収支決算書」案作成と
第 1 回役員会議案（2018 年 6 月）決議

3) 総会、役員会、委員長会議の議案書作成と管理

定時総会（2018 年 6 月）、第 1 回役員会（2018 年 6 月）、
第 2 回役員会（2018 年 11 月）、委員長会議（2019 年 1 月）の議案書作成と配信

4) 各委員会間の情報伝達と業務調整

5) その他、他の委員会などが所掌せず、役員会が必要と認めた事項

3. 経理委員会

1) 2019 年度予算案作成

2) 平成 30 年度会計報告書の作成

- ① 各委員会の事業報告、収支報告書、証拠処理（領収書等）の確認
- ② 監事による会計および業務監査会の実施
- ③ 会計に関する資料および事業報告書、監査報告書を会長、学会事務局へ報告

3) 各委員会会計実施の状況

① 立て替え金を実施した委員会

本部会計，経理委員会，編集委員会，庶務委員会，規約委員会，渉外委員会，都道府県代表者委員会，あり方委員会，がん検診委員会

② 仮払金請求を実施した委員会

本部会計，庶務委員会，経理委員会，精度保証委員会，学術委員会，国際委員会

③ 学会から直接経費（請求金）を支払った委員会

本部会計，編集委員会，経理委員会，がん検診委員会，渉外委員会，情報委員会，あり方委員会，精度保証委員会，学術委員会，50周年記念事業委員会

4. 庶務委員会

1) 庶務委員会の業務に沿った活動

- ① 総会，役員会，委員長会議等の開催・運営
- ② 役員会・各種会議の議事録作成・保管
- ③ 公印の使用及び管理
- ④ 資料の保管
- ⑤ 慶弔
- ⑥ 講師等委嘱状の発行

5. 規約委員会

1) 規則類の変更

「総会運営に関する細則」「役員選任に関する細則」「役員会運営に関する細則」「委員会に関する細則」「委員長会議に関する運用細則」「委員長業務分担要綱」「電子的通信手段の利用に関する細則」「会計に関する細則」「慶弔に関する細則」「議事録作成要綱」「2019年・2020年度役員選挙実施要綱」「都道府県細胞検査士会との連携に関する細則」

2) 会議の開催 3) 規則類の原本及びその改正書類の管理

6. 渉外委員会

1) 子宮の日の活動：2017 Love49 プロジェクト

47 都道府県（100.0%）が参加，細胞検査士会からポケットティッシュ 6 万個

2) 平成 29 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会活動と育成・養成活動）

【啓発・社会】と【育成・養成】（調査期間：8 月から 10 月）（回答率 94%；44 都道府県）

① 2017 Love49 キャンペーン実施都道府県数：47 都道府県（100.0%）

総イベント数：89 イベント，参加者数：延べ 1,756 名（細胞検査士 1,131 名，臨床検査技師 286 名，医師 32 名，その他 307 名）

② 育成・養成活動の報告

開催数：155（複数開催した都道府県あり），参加者数：延べ 2,894 名（細胞検査士 1,333 名，臨床検査技師 1,344 名，医師 134 名，その他 83 名）

③ 子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート（抜粋）

細胞学会に平成 30 年度分の子宮頸がん検診推進活動費を申請したか否か

申請した：36 都道府県，申請しなかった：2 都道府県，回答無し：6 都道府県

4) LOVE49 活動についてのアンケート調査

平成 30 年 4 月に「LOVE49 活動についてのアンケート」調査を行い，第 1 回細胞検査士会役員会および都道府県代表者会議において調査内容を報告した。

5) 第 5 回子宮の日全国アクション 2018 報告会

第 59 回日本臨床細胞学会総会（北海道：2018 年 6 月 2 日（土）8：30～10：00）において 2018 LOVE49 報告会を実施し，細胞検査士と専門医から 5 演題を報告

座長：藤井和晃，河原明彦

演者：吉田志緒子（渉外委員会），今枝義博（がん検診委員会），加藤 修（北海道），
鈴木君義（埼玉県）小泉基生先生（EVE ウィミズクリニック）

6) 第 59 回日本臨床細胞学会総会および第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会（6 月，11 月）にて，がん検診委員会と共同で LOVE49 キャンペーンのパネル展示

7) 第 14 回がん患者大集会の会場協力（2018.11.25）

メインテーマ：「今，患者力に求められるもの」

メイン会場（東京都）：東京医科歯科大学 M&D タワー 鈴木章夫記念講堂

協 力：三宅真司，阿部仁，渋谷康雄，町田知久，牧野諒央，軽部晃平

渡具知克，藤田大貴，金室俊子，近藤 円，吉田志緒子（計 11 名）

8) 2019 Love49 プロジェクトの準備（2018.12-2019.3）

① 2019 Love49 キャンペーン of 趣意書原案作成

② 2019 年 4 月 9 日前後に，子宮頸がん検診啓発活動準備

③ 2019 Love49 は 47 都道府県から参加希望があった

8) 第 6 回 2019 LOVE49 報告会の準備

第 60 回日本臨床細胞学会総会（東京）において，2019LOVE49 報告会の準備を行い，例年と同じような報告会が出来るようになりました。多数の方々のご参加をお待ちしております。

9) 平成 30 年度渉外委員会事業の総括

今年度の渉外委員会の活動は，昨年度に引き続き Love49 キャンペーン of 準備協力，学会時の Love49 報告会，パネル展示やがん患者大集会などへの参加協力を行い，安定して事業を行えた。今回はじめて，子宮頸がん検診の啓発事業である LOVE49 活動についてのアンケート調査を行った結果，「LOVE49 活動」の必要性・継続性の問いに関して，「大いに感じる」あるいは「ある程度必要と感じる」と多くの都道府県が回答し，本公益事業の重要性・必要性が再認識された。一方，2019 Love49 キャンペーンおよびこれからの啓発活動に関して，今後も長く活動していくには，細胞検査士会が中心となった啓発活動に変更し，多くの企業との連携を積極的に行うことも考慮する必要があると感じた。渉外委員会は，全国の細胞検査士が有意義な公益活動を行えるような仕組みを作っていきたいと考える。

7. 編集委員会

細胞検査士会会報 Vol.63，Vol.64 号を発行した。

会報発行予定月が計画どおりに進まないことが反省点である。この理由としては，原稿締め切り日までに原稿が集まらない事や編集作業に時間を要することなどである。来期以降は，発行予定月を守っていく目的で，会報発行の準備開始時期を例年より早め，時間的余裕をもって会報の発行に取り組んでいきたい。また，編集委員会内で記事の内容について会議を開いた結果，『会員が興味のある記事』，『勉強になる記事』，『専門医の執筆』を今後のテーマとして，会報の作成を行っていくことで一致した。

8. 学術委員会

1) 報告事項

① 第 59 回日本臨床細胞学会総会（6 月 1 日～3 日）

・細胞検査士会要望教育シンポジウム

・細胞検査士会 Young committee ワークショップ

(Papanicolaou 染色の標準化に向けて) ・ポスターセッション「わからん会」

② 細胞検査士教育セミナー (8月25~26, 9月8~9日)

・スライドカンファレンスを渉外保証委員会と共同で企画実行

③ 第57回日本臨床細胞学会秋季大会 (11月17~18日)

・細胞検査士会要望教育シンポジウム「胃粘膜下腫瘍の on-site の実際」

④ 細胞検査士会ワークショップ第1回, 2回

平成31年2月9日(土), 10日(日) 帝京大学

テーマ: 「子宮頸部腺系病変の臨床, 病理, 細胞診と

各種液状処理標本(Liquid-based preparation)の細胞診」

9. 国際委員会

第10回日・台・韓細胞検査士合同セミナーについて

期日: 平成31年3月24日, 開催地: 韓国 仁川, 会場: Songdo Convensia, Incheon

1) 概要

セミナーの前日の23日, 江華島半日ツアー, 夜はウェルカム・パーティ

24日は第10回日・台・韓細胞検査士合同セミナー, 3国代表者会議を昼食時間を利用してランチョンミーティング形式で実施, セミナーの後は懇親会, それをもって第10回日・台・韓細胞検査士合同セミナーは盛会裏に終了した。

2) 半日観光ツアー

日本20名, 台湾10名が参加し, 韓国を加えて約40名で観光した。貸し切りバスにて, 北朝鮮との国境である江華島へ行った。江華島には展望台があり, 北朝鮮の様子を望遠鏡にて見ることができ, 貴重な体験であった。

3) ウェルカム・パーティ「Hanyang」

焼き肉レストラン「Hanyang」, 酌を交わしながら3国の懇親を深めた。

4) 第10回日・台・韓細胞検査士合同セミナー「ORAKAI Songdo Convensia」

開会9:00, 閉会16:30, 参加者は日本より28名, 台湾より10名, 総参加者は240名。

3国の細胞検査士会会長の挨拶, 伊藤会長代理は国際委員会委員長南部が努めた。

演題数は特別講演および一般講演を含め15題。特別講演は細胞診の歴史について, 小林忠男氏「Changing Face of Clinical Cytology: a wise man learns from history?」

5) 3国代表者会議

3国代表者会議はセミナーの昼食時間を利用してランチョンミーティング形式にて行われた。日本は阿部仁, 国際委員会委員長南部, および加戸伸明, 台湾はKo Jen-Sheng, Lee Yi-Ju, 韓国は, Soo-il Jee, Hwa-Jeong Ha, No Won Parkで構成され, 次期の第11回日・台・韓細胞検査士合同セミナーについて審議した。次期開催国は台湾で, 開催日は2020年3月14日に決定した。また, 2020年の日本臨床細胞学会秋期大会にて国際セッションを計画しているため, 積極的な参加を呼び掛けた。また, 2021年3月に第12回日・台・韓細胞検査士合同セミナーを開催する予定であったが, 日本臨床細胞学会秋期大会から, わずか3か月であるため, 2021年3月は行わず, 2022年の3月に韓国で行うことに決定した。

6) 懇親会

セミナー会場ORAKAI Songdo Convensiaにて, 3国の参加者が共に酌を交わし合い, 国境を越えて懇親を深めた。

7) 総括

参加者総数は過去最大規模の240名。年々、日・台・韓細胞検査士合同セミナーは充実してきており、発表内容および英語力に進歩が見られた。

8. 情報委員会

[報告事項]平成30年度4 - 10月におけるHP更新情報

1) 新着情報

4月

- ・平成30年度『細胞検査士有資格者症例鏡検研修会』in神戸のお知らせ
- ・細胞検査士会創立50周年記念誌(製本版)事前申込みのご案内

5月

- ・<会員専用>平成30年度細胞検査士会 定時総会議案書掲載のお知らせ
- ・<会員専用>平成30年度 役員会資料 第1回役員会議案書掲載のお知らせ
- ・「日本サイトメトリー技術者認定協議会 技術講習会・認定試験」のご案内
- ・役員会、都道府県 代表者会議及び細胞検査士会総会のご案内

6月

- ・2018年国際細胞検査士資格認定試験(北京・バンコク)のご案内
- ・平成30年度 地方支援 「細胞検査士養成ワークショップ in 弘前」のお知らせ

7月

- ・第76回細胞検査士教育セミナー(福岡) *受講者募集のお知らせ*
- ・Internet cytology 公開

8月

- ・役員選挙実施と役員選挙管理委員会からのお知らせ
- ・平成30年度 第1回細胞検査士養成ワークショップ(東京) 会場の募集終了のお知らせ
- ・選挙管理委員会設置のお知らせ
- ・平成30年度 第1回・第2回細胞検査士養成ワークショップのお知らせ
- ・ニュース 2020年日本臨床細胞学会秋期大会_大会長に伊藤会長 決定!!
- ・細胞検査士会創立50周年記念誌(製本版) 申し込み延長のお知らせ

9月

- ・役員選挙管理委員会からのお知らせ(3) 掲載のお知らせ
- ・第10回 日・台・韓細胞検査士合同セミナーのお知らせ
- ・平成30年度 第1回 大阪国際がんセンター細胞診セミナーのお知らせ
- ・細胞検査士会創立50周年記念誌の申し込み再延長のお知らせ
- ・平成30年度 第2回細胞検査士養成ワークショップ(神戸) 会場の募集終了のお知らせ

10月

- ・役員選挙管理委員会からのお知らせ(4-6) *会員限定 掲載のお知らせ
- ・平成30年度第2回 細胞検査士会役員会及び都道府県代表者会議のお知らせ

11月

- ・平成30年度 細胞検査士会定時総会議事録と第1回役員会議事録 掲載のお知らせ
- ・第1回・第2回 細胞検査士会ワークショップのご案内
- ・第13回神戸甲状腺診断セミナーのご案内

- ・第10回日・台・韓細胞検査士合同セミナー追加のご案内
- ・平成30年度第2回役員会議案書 掲載のお知らせ
- ・50周年記念誌 販売終了のお知らせ
- ・役員選挙管理委員会からのお知らせ 選挙結果 <<速報>>のお知らせ
- ・環境省主催「中皮腫の診断精度向上のための講習会」のお知らせ

12月

- ・選挙管理委員会からのお知らせ (8),(9) - 会長・副会長選挙に関するお知らせ -

1月

- ・第1回・第2回 細胞検査士会ワークショップのご案内（会場アクセスを追加掲載）
- ・第17回子宮内膜細胞診勉強会のお知らせ

2月

- ・[Internet cytology] 細胞検査士ワークショップの実習症例の解説掲載のお知らせ

2) 各種委員会

各委員会 平成29年度事業報告と平成30年度事業計画を掲載

庶務委員会及び情報委員会 平成30年度中間報告を掲載

3) 会員専用

- ・細胞検査士会規則集を更新・平成30年度 役員会資料（第1回役員会議案書）
- ・平成30年度細胞検査士会総会資料（細胞検査士会定時総会議案書）
- ・平成29年度第二回役員会議事録掲載 ・総務委員会 平成29年度事業報告
- ・経理委員会 平成29年度収支決算・庶務委員会 平成30年度事業計画
- ・細胞検査士会規則集（2019-2020年度役員選挙実施要綱を更新）
- ・2019-2020年度 役員選挙実施に関するお知らせを掲載

選挙管理委員会からのお知らせ

- ① 役員選挙概要 ② 立候補について
- ③ 都道府県の細胞検査士会の選挙人（投票者）数について
- ④ 選挙人（投票者）について ⑤ 被選挙人（候補者）について
- ⑥ 幹事選開票立会いのご案内

2019-2020年役員選挙_役員（幹事）候補者名簿_HP 掲載

役員選挙管理委員会からのお知らせ (7) 細胞検査士会役員（幹事）選挙結果

- ・平成30年度第2回役員会議案書 掲載
- ・平成30年度 細胞検査士会定時総会議事録と第1回役員会議事録を掲載
- ・選挙管理委員会からのお知らせ

会長 副会長候補者名簿, 会長_副会長決定

- ・平成30年度細胞検査士会第2回役員会議事録案を掲載

4) セミナー・ワークショップ

- ・平成30年度 地方支援「細胞検査士養成ワークショップ in 弘前」
- ・第76回 細胞検査士教育セミナー（福岡）のお知らせ
- ・第1回 細胞検査士養成ワークショップ（東京）会場の募集終了
- ・第10回日・台・韓細胞検査士合同セミナーのお知らせ
- ・平成30年度 第1回・第2回細胞検査士養成ワークショップ

- ・第 10 回日・台・韓細胞検査士合同セミナー追加
- ・第 1 回・第 2 回 細胞検査士会ワークショップ
- ・第 77 回 細胞検査士ワークショップ（広島）
- ・第 1 回・第 2 回 細胞検査士会ワークショップのご案内（会場アクセスを追加掲載）

5) 学術情報

- ・平成 30 年度 細胞検査士有資格者 症例鏡検研修会
- ・日本サイトメトリー技術者認定協議会 技術講習会・認定試験
2018 技術講習会案内, 第 21 回認定試験案内
- ・環境省主催「中皮腫の診断精度向上のための講習会」 ・第 13 回神戸甲状腺診断セミナー

6) 細胞検査士求人情報の掲載に関して

新掲載 76 件, 掲載延長 3 件, 取り下げ 8 件

7) Internet cytology

- ・LBC 法を用いた検体種別診断セミナー（第 59 回 日本臨床細胞学会総会春期大会）
【リンク掲載】
- ・唾液腺細胞診報告様式ミラノシステムの解説と実際の報告例【リンク掲載】
- ・第 72 回日本臨床細胞学会細胞検査士教育セミナーで実施した細胞検査士教育セミナー・セルフアセスメントの解説と回答率を掲載
- ・第 77 回細胞検査士ワークショップの実習症例の解説掲載

8) 精度保証委員会よりの役員を対象とした「標本作製アンケート」調査依頼の実施サイトの作成に協力した。実施期間：7 月 3 日～8 月 20 日

「標本作製アンケート」実施サイト：<https://goo.gl/forms/2y8JnADgTdOSOax12>

9) 都道府県代表者 ML

代表者変更：山口県, 徳島県

都道府県代表者委員会メーリングリストに委員長を追加（5 月）

（本 ML の登録構成は、都道府県代表者委員及び会長, 副会長, 監事, 委員長の 67 名となった）10)

情報委員会 2019 年度事業の総括

2019 年度の活動計画（目標）

- ① ctjisc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用
- ② 求人情報掲載の管理
- ③ Intercyto.com（インターネットサイトロジー HP）CMS システムの構築
- ④ 毎月の HP 更新内容を委員長 ML 及び役員会 ML に報告
- ⑤ 委員長会議, 役員会会議及び都道府県代表者会議メーリングリストの管理

結果

ctjisc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用

別紙報告に示す項目を掲載対応した。特に、役員選挙の選挙ニュースに関しては、選挙委員長に確認し迅速に対応した。

求人情報掲載の管理

依頼される掲載項目に記載内容がない場合は、当方からも事例を提示し必ず記載していただくようお願いした。

Intercyto.com（Internet cytology）CMS システムの構築

公開が大幅に遅れ、また症例掲載が不十分であるが2018年7月に公開した。今後の掲載情報に関しては、web担当者が負担とならない運用に切り替えて行く予定である。

毎月のHP更新内容を委員長 ML 及び役員会 ML に報告

例年通り月初めに、先月 HP に掲載した内容（新着情報、各種委員会からの掲載、会員専用への掲載内容、セミナー・ワークショップと学術情報及び求人情報の掲載数）をお知らせした。

委員長会議、役員会会議及び都道府県代表者会議メーリングリストの管理

メーリングリストにおける各会議参加者の登録管理を行った。また施設代表者の交替に関する登録削除及び新規登録に対応した

成果

平成27年7月より現在のサーバーに移行し、現ホームページのコンテンツを構築した。現在、迅速に安定した運用が構築できている。およそ3年間かかったが従来公開されていたインターネットサイトロジーHPのサーバーの移行と再構築を行い、新しい学習サイトとして Internet cytology を作成公開した。

反省

情報委員会としては、7名の委員より構成しているが、実質的な更新作業は3名が行っている。当初役割を担当コーナーで設けていたが平均的な運用には繋がらなかった。できれば少人数での運用が望ましいと考えている。

9. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

- 1) 平成30年度都道府県代表者委員会出納簿
- 2) 2019年都道府県代表者委員会予算案
- 3) 平成30年度都道府県代表者委員会業務報告書
- 4) 平成30年度都道府県代表者委員会業務目標・成果報告書

10. あり方委員会

- 1) あり方委員会会議、平成30年5月、学会事務局
- 2) 第1回細胞検査士会役員会へ確認・検討事項、平成30年6月
日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策
 - ① 細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける講師、座長、運営スタッフ
 - ② 日本臨床細胞学会総会、秋期大会におけるプログラム委員、座長、細胞検査士会要望教育シンポジウムなど
 - ③ 細胞検査士養成所／養成課程における講師における正会員の優位性を確認
*細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける受講者に対する正会員優位性の確保については継続審議となった。
- 3) 第2回細胞検査士会役員会へ確認・検討事項、平成30年11月
細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける受講者に対する正会員の優位性を確保したいと提案した。
- 4) あり方委員会の案
正会員の優先受付：通常の募集より1週間くらい早目に正会員のみ募集受付を行い、定員として募集人数の1/3くらいを上限とする（900名募集であれば300名くらい）。以後の募集は正会員／準会員を問わずに募集受付を行う。
*役員会の議論にて賛成意見、反対意見の両方があり、採決は行わずに、再度、継続審議

成果

平成30年度第1回細胞検査士会役員会への確認・検討事項として、日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策を提案した。役員会にて1. 細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける講師、座長、運営スタッフ、2. 日本臨床細胞学会総会、秋期大会におけるプログラム委員、座長、細胞検査士会要望教育シンポジウムなど、3. 細胞検査士養成所／養成課程における講師における正会員の優位性を確認した。なお、細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける受講者に対する正会員優位性の確保については継続審議となった。

平成30年度第2回細胞検査士会役員会への確認・検討事項として、継続審議となっていた「細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける受講者に対する正会員の優位性を確保」を提出した。あり方委員会の提示した案に対して、賛成意見と反対意見の両方が出たが、今回は採決を行わずに引き続き継続審議とした。

反省点

平成30年度第2回細胞検査士会役員会に、継続審議となっていた「細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける受講者に対する正会員の優位性を確保」を確認・検討事項として提出した。役員会の審議にて出た反対意見の中に、「正会員が優位性（メリット）を求めている」としたアンケート結果の提示を求める意見が出された。これはあり方委員会が平成28年度に行った細胞検査士意識調査アンケートの記述式アンケートの中にあるが、記述式の意見数が多く、結果報告のまとめ方に苦慮している部分でもあった。このアンケート結果を早目に報告できなかった事は、あり方委員会の反省点と思われた。今後は記述式アンケート結果の結果報告を早期に行う方向で活動する予定としている。そして、会員皆様の貴重な御意見をさらにいただいて、より良い活動方針に反映させていくことを目指している。

11. 精度保証委員会

1) 第75回・76回細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議

平成30年6月16日（大阪：学術委員会・精度保証委員会）

2) 平成30年度「有資格者症例検鏡研修会」

平成30年6月17日（神戸） 参加人数 60名

3) 平成30年度「地方支援 細胞検査士養成ワークショップin弘前」

平成30年7月21日・22日（弘前） 参加人数 23名（学生12名）

4) 平成30年度細胞検査士養成ワークショップ問題作成会議 平成30年8月4日（東京）

5) 第75回 細胞検査士教育セミナーの実施協力 平成30年8月25日・26日（横浜）

セルフアセスメント（学術委員会・精度保証委員会連携事業）

6) 第76回 細胞検査士教育セミナーの実施協力 平成30年9月8日・9日（福岡）

セルフアセスメント（学術委員会・精度保証委員会連携事業）

7) 平成30年度 細胞検査士養成ワークショップ

平成30年10月13日・14日（東京） 参加人数 120名

8) 平成28年度 細胞検査士養成ワークショップ

平成30年10月20日・21日（神戸） 参加人数 106名

9) セルフアセスメント正解率、解答、説明 UP 内容検討会議、検体作製アンケート分析会議

平成30年12月15日（大阪）

12. がん検診委員会

- 1) 4月 Love49にてアンケートを実施・集計
- 2) 6月2日～3日 第59回日本臨床細胞学会総会春期大会
- 3) 子宮の日全国アクション-2018 報告会で発表・パネル展示
- 4) 9月29日～30日 第26回日本養護教諭教育学会学術集会
- 5) がん教育における今後の活動の協力体制を協議
- 6) 11月17日～18日 第57回日本臨床細胞学会秋期大会, 7) パネル展示
- 8) 業務目標

- ① がん検診の受診率の向上 ② がん検診の精度向上 ③ がん教育のサポート

9) 結果・成果

- ①がん検診の受診率向上 ・Love49 活動実施 ・一般市民へのアンケートの実施と集計
・子宮の日全国アクション-2018 報告会で発表
- ②. がん検診の精度向上 ・HPV 併用検診の最新データをパネル展示
- ③ がん教育のサポート ・日本養護教育学会との連携を協議

10) 反省

- ① がん検診の受診率向上：Love49 活動は例年通り全国で実施,
アンケート結果から中高生へのがん教育が肝要と思われた
- ② がん検診の精度向上：HPV 併用検診の最新データをパネル展示したが,
委員会独自のデータを収集するには至らなかった
- ③ がん教育のサポート：日本養護教諭教育学会と連携して, がん教育をサポートすることを協議
できたことは大きな進展であった

13. 細胞検査士創立 50 周年記念事業委員会

1) 細胞検査士会創立 50 周年記念誌の作成と配布（編集部）

2017 年 11 月に開催された細胞検査士会創立 50 周年記念事業の一環として, 記念誌（製本版および DVD 版）の作成と販売, 配送を行った。印刷は株式会社 三和にご協力いただき, 総ページ数は 360 ページを超える大作となった。作成数は, 布クロス貼り上製本 1,500 冊, ケース入り DVD8,000 枚である。構成, 内容は下記のとおり。

- 第 1 章 細胞検査士会創立 50 周年を記念して
- 第 2 章 目で見る 50 年の歩み
- 第 3 章 文で綴る 50 年の歩み
- 第 4 章 細胞検査士会 50 年の歴史と将来の課題
- 第 5 章 私と細胞検査士の出会い
- 第 6 章 各都道府県 50 年の歩み
- 第 7 章 教育活動の歴史
- 第 8 章 関連企業 50 年の歩み
- 第 9 章 世界で活躍する細胞検査士
- 第 10 章 創立 50 周年記念式典
- 第 11 章 資料集

30 周年記念誌をベースとして, その後の 20 年間の細胞検査士会の歩みを多くの写真を盛り込みながら掲載した。また, 細胞診に係わる著名な先生や企業の方々からのご祝辞の他, 目で見る 50 年の歩み, 各都道府県における活動の記録, 教育活動の歴史など, 50 年間の細胞学会, 細胞検査士会

の歴史を一望できる内容となった。さらに、細胞検査士が筆頭著者となっている原著論文などの調査資料も含まれており、試料集としても大変価値あるものとすることができた。

製本版は1冊1,000円とし、2018年4月より販売を始め、その後、横浜、福岡で開催された細胞検査士教育セミナーでも追加販売を行い、2019年11月12日をもって販売を終了した。

DVD版については、細胞検査士会報に同封し、細胞検査士全員に無料配布を行った。残った記念誌（製本版）は、細胞検査士養成所および養成コースのある大学などで細胞検査士を目指す学生に無料配布した。

2) 総括

今年度、50周年記念誌（製本版、DVD版）の発刊とともに配布・販売の企画が完了した。これをもって50周年記念事業すべての企画を完了することができた。ひとえに日本臨床細胞学会事務局をはじめ関係者皆様のおかげであり、細胞検査士会役員および50周年記念事業会委員皆様には多大なご協力を賜り深く感謝申しあげる。細胞検査士会は次の50年に向けて「新たなる飛躍をめざして」いくので、今後も更なるご支援、ご協力をお願いしたい。

【2018年度（平成30年度）会計報告】

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成30年度(2018年) 決算

1) 細胞検査士会(50周年記念事業を除く)

収入の部

科目	金額	備考
参加費	3,436,000	細胞検査士養成ワークショップ(10,000円×226人)、初心者細胞検査士養成ワークショップ(4,000円×11人)、有資格者ワークショップ(5,000円×56名)、ワークショップ(8,000円×99人)、ワークショップ講義のみ(3,000円×20人)
入会金、年会費	11,579,000	
郵送費、集金事務費	216,459	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	15,231,459	

支出の部

科目	管 理 費											事業費		合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術	
通信運搬費	7,117	-	437,482	92	23,160	1,464,289	223,139	720	82	-	82	18,041	2,424	2,176,628
旅費交通費	523,664	-	-	155,664	92,800	-	-	-	-	-	66,820	1,399,716	10,780	2,249,444
印刷製本費	-	-	-	-	13,500	1,332,179	-	-	-	100,000	-	1,096,200	76,440	2,618,319
消耗品費	65,715	-	-	-	5,160	-	-	-	-	-	-	6,516	1,277	78,668
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	131,601	480,924	-	-	-	-	-	-	612,525
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134,685	-	134,685
会議費	41,322	-	-	28,000	-	-	22,000	79,000	10,000	-	10,000	245,633	46,964	482,919
会場費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	135,305	59,400	194,705
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
接待交際費	60,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	130,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	583,645	240,000	953,645
雑費	4,008	-	864	864	2,160	6,156	324	1,404	648	756	864	10,800	8,390	37,238
合計	831,826	-	438,346	184,620	136,780	2,934,225	726,387	81,124	10,730	100,756	77,766	3,630,541	445,675	9,598,776

収入合計	15,231,459
支出合計	9,598,776
収支差額	5,632,683

以上の通り、平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の細胞検査士会決算を計上します。

平成31年3月31日 細胞検査士会 会計担当

阿部 仁



同 会長

伊藤 仁

細胞検査士会 創立50周年記念事業 決算

2) 50周年記念事業のみ

収入の部

科目	金額	備考
記念誌販売収益	704,000	1,000円×704冊
収入合計	704,000	

支出の部

科目	管理費					事業費		合計
	表彰選考委員会	実行委員会	会計	学術	事業	式典部	編集	
通信運搬費							904,467	904,467
旅費交通費							7,938	7,938
印刷製本費							6,442,200	6,442,200
消耗品費							-	-
消耗什器備品費							-	-
臨時雇賃金							-	-
会議費							12,000	12,000
会場費							-	-
委託費							-	-
接待交際費							-	-
諸謝金							-	-
雑費							3,996	3,996
市民公開講座							-	-
合計							7,370,601	7,370,601

収入合計	704,000
支出合計	7,370,601
収支差額	-6,666,601

以上の通り、細胞検査士会50周年記念事業決算を計上します。

平成31年3月31日 50周年記念事業会 会計部長 阿部 仁

50周年記念事業会 会長 伊藤 仁



公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成30年度(2018年) 決算

3) 細胞検査士会(50周年記念事業を含む)

収入の部

科目	金額	備考
参加費	3,436,000	細胞検査士養成ワークショップ(10,000円×226人)、初心者細胞検査士養成ワークショップ(4,000円×11人)、有資格者ワークショップ(5,000円×56名)、ワークショップ(8,000円×99人)、ワークショップ講義のみ(3,000円×20人)
入会金、年会費口座より	11,579,000	
郵送料、集金事務費	216,459	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
記念誌販売収益	704,000	1,000円×704冊
収入合計	15,935,459	

翌年度(2019年度)への繰越金内訳

銀行預金	162,7684
記念事業	4,086,511
郵便振替	32,799,408
細胞検査士WS	3,511,960
検査士会50周年記念誌	703,870
現金	130,694
合計	42,860,127

支出の部

科目	管 理 費											事業費			合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術	50周年記念事業	
通信運搬費	7,117	-	437,482	92	23,160	1,464,289	221,735	720	82	-	82	18,041	2,424	904,467	3,079,691
旅費交通費	523,664	-	-	191,244	92,800	-	-	-	-	-	66,820	1,399,716	10,780	7,938	2,292,962
印刷製本費	-	-	-	-	13,500	1,332,179	-	-	-	100,000	-	1,096,200	76,440	6,442,200	9,060,519
消耗品費	65,715	-	-	-	5,160	-	-	-	-	-	-	6,516	1,277	-	78,668
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	131,601	480,924	-	-	-	-	-	-	-	612,525
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134,685	-	-	134,685
会議費	41,322	-	-	24,000	-	-	22,000	79,000	10,000	-	10,000	245,633	46,964	12,000	490,919
会場費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	135,305	59,400	-	194,705
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
接待交際費	60,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	130,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	583,645	240,000	-	953,645
雑費	4,008	-	864	1,620	2,160	6,156	1,728	1,404	648	756	864	10,800	8,390	3,996	43,394
合計	831,826	-	438,346	216,956	136,780	2,934,225	726,387	81,124	10,730	100,756	77,766	3,630,541	445,675	7,370,601	17,001,713

収入合計	15,935,459
支出合計	17,001,713
収支差額	-1,066,254

以上の通り、平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の細胞検査士会決算を計上します。

平成31年3月31日

細胞検査士会 会計担当

阿部 仁



同 会長

伊藤 仁



2018年(平成30年度)
日本臨床細胞学会細胞検査士会 会計報告

(翌年度への繰越金内訳)

前年度からの繰越金	45,243,315		銀行預金	1,627,684
(うち記念事業分)			記念事業	4,086,511
今年度(2018年)総収入	15,935,459		郵便振替	32,799,408
今年度(2018年)総支出		18,318,647	検査士会WS	3,511,960
翌年度への繰越金		42,860,127	検査士会	703,870
(うち記念事業分)			(50周年記念誌)	130,694
現金			現金	130,694
合計	61,178,774	61,178,774	合計	42,860,127

収入・支出 明細

収入の部			支出の部(管理)		支出の部(事業)	
入会金	276名	552,000	純事務費		事業費	
会費			印刷製本費	1,945,330	会議費	304,597
			消耗品費	70,875	旅費交通費	1,418,434
2015年		1,000	通信運搬費	2,154,759	印刷製本費	7,614,840
2016年		1,000	旅費交通費	874,528	通信運搬費	927,654
2017年		2,000	雑費	20,208	消耗品費	7,793
2018年		43,000	接待交際費		臨時雇賃金	187,451
2019年		2,204,000	会議費	186,322	諸謝金	930,840
2020年		2,204,000	什器備品	131,601	会場費	194,705
2021年		2,204,000	臨時雇賃金		雑費	23,186
2022年		2,203,000	会場費		什器備品	
2023年		2,165,000	委託費		委託費	
			諸謝金	130,000	接待交際費	
			諸会費	60,000		
			過払分	1,096,524	事業費支出計	11,609,500
					誤入金返金	39,000
					支払負担金他	39,000
					小計	18,318,647
収入小計 1		11,579,000	管理費支出計	6,670,147	総支出	18,318,647
印刷管理料・郵送料 (広告)		216,459				
ワークショップ参加費		3,436,000				
50周年記念誌販売		704,000				
			雑収入			
			銀行利息	0		
			収入小計 2	4,356,459		
			総収入	15,935,459	今年度の収支差額	(2,383,188)

上記の通り、平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の細胞検査士会会計報告を致します。

平成31年3月31日 細胞検査士会会計担当 阿部 仁



【2018年度（平成30年度）監査報告】

監 査 報 告 書

平成 31 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会
会長 伊藤 仁 殿

監 事 片岡 秀夫 

平成 30 年度(平成 30 日年 4 月 1 日～平成 3 月 1 年 3 月 31 日)の会計及び業務について監査を実施したので、その結果を報告する。

監査方法

- 1) 会計について、帳簿ならびに関係書類の閲覧により、計算、書類が正確かつ適正であること。
- 2) 業務について、当会の役員会及び各委員会から、聴取又は関係書類の閲覧により、業務執行が適正であること。

監査結果

- 1) 経理委員会が作成した収支決算書(会計報告書)を閲覧し、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況、及び財政状況が正しく示されているものと認めた。
- 2) 当会の業務は、細胞検査士会平成 30 年度事業計画及びこれに伴う予算書に基づいて実施され、不正行為、法令や当会諸規則に違反する事実はないと認める。

補足事項

- ※ 繰越金については、有効な活用法を検討してほしい。
- ※ 公益社団法人化に伴いこれまでの諸規則を更に検討してほしい。
- ※ 予算案と決算額の乖離が大きくなるような予算案を作成してほしい。
- ※ 各委員会からの予算案および会計報告の提出期限を厳守してほしい。
- ※ 当会の役員及び委員は、本来業務に加えて当会の業務に尽力したことを認める。

以上

VI. 確認・検討事項

1. 2019-2020年度監事候補者について

2. 渉外委員会の小委員会設置について

名称：がん検診委員会，がん検診小委員会

内規：

活動：① 第60回日本臨床細胞学会総会でパネル展示（啓発・調査）

② 第58回日本臨床細胞学会秋期大会でパネル展示

③ 他関連団体で啓発活動の実施 ④ その他

3. 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策について（あり方委員会）

4. その他

IX. 資料

平成 30 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録

日時：第 57 回日本臨床細胞学会（秋期大会）

2018 年 11 月 16 日（金曜日） 15:00～16:00

場所：パシフィコ横浜 会議センター 411 + 412

【役員出席者】

【会長】伊藤 仁，【副会長 2】小松 京子，三宅 真司，【幹事】平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，原田 仁稔，河原 明彦，阿部 英二，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，山城 篤，遠藤 浩之，竹中 明美，今枝 義博，安達 博成，有田 茂実，石井 保吉，及川 洋恵，柿沼 廣邦，加戸 伸明，片山 博徳，小林 幸弘，小山 芳徳，笹井 伸哉，淡木 康雄，棚田 諭，土田 秀，田路 英作，野崎 正行，畠 榮，羽原 利幸，深澤 政勝，藤井 和晃，松本 慎二，町田 知久，丸川 活司，丸田 淳子，三浦 弘守，横山 俊朗

【監事】片岡 秀夫

【欠席者】服部 学，廣井 禎之，藤田 勝，山本 秀巨

会の成立：役員 46 名中 42 名出席，委任状提出 3 名，仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：役員会運営に関する細則第 6 条により，平田総務委員長が選任された

議事録作成：庶務委員会（笹井幹事，棚田幹事）

議事録署名人：伊藤 仁，片岡秀夫

会長挨拶 伊藤会長

皆様お忙しい中多くの皆様にお集まりいただきありがとうございます。50 周年記念誌作製事業が無事に終了し，皆様方の多大なるご協力に厚く御礼を申し上げます。編集長をはじめ記念誌作成に関係した皆様方には心より感謝申し上げます。

細胞検査士会役員（幹事）選挙が終了し，選挙管理委員会，各都道府県細胞検査士会の協力に感謝申し上げます。日本臨床細胞学会の理事選挙が行われ，明日の理事会で結果が報告されます。ご協力いただきました細胞検査士評議員の皆様方には心から御礼を申し上げます。

このあと，地方区で 15 名の理事が選出されます。35 名の理事の中で理事長選挙が行われ理事長が選出され，理事長推薦理事が加わり 40 名弱の新しい理事会が発足する手順になっています。第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会で細胞検査士として初めて主催することになりました。細胞検査士が学会を主催するまで 60 年あまり，合わせて 120 回の臨床細胞学会で始めて細胞検査士がこの大役を務めさせていただくことになりました。多数の検査士が参加し，企画の提案などご協力をお願いいたします。会場は，パシフィコ横浜 NORTH，期日は 2020 年 11 月 21 日・22 日で，翌日 23 日が祝日で遠方からも参加しやすい日程を組んでおります。皆様方の絶大なるご支援をお願いする次第です。50 周年記念誌作製事業が無事に終了し，編集部長はじめ皆様方の多大なるご協力に厚く御礼を申し上げます。

I. 「平成 30 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録」の確認

一部訂正して確認した。

II. 報告事項 議案書Ⅳ報告事項の記載のように報告があった。

III. 議案

なし

IV. 確認・検討事項

1. 渉外委員会：2019年子宮頸がんを予防する日ニュースレター（案）

予算を検討し、継続して審議する。

2. あり方委員会：正会員の権利向上に向けて

引き続き、細胞検査士正会員を増やす方策を検討していく。

3. がん検診委員会：臨時委員会から常置委員会への変更について

常置委員会への変更議案の準備をがん検診委員会、規約委員会で進める。

4. その他

小松副会長：第60回日本臨床細胞学会春期大会（京王プラザ）は第60回を記念して、各都道府県から口演・ポスターを各1題公募する。今週中には各都道府県の会長に連絡したい。

V. 質疑内容

1. 報告事項

安達幹事：細胞検査士会役員選挙において開票から2日間を要した理由と172票の無効票の内訳を教えてください。

才藤選挙管理委員長：11月3日（土）に、選挙管理委員9名中4名と補助員3名で開票作業を行い、4日（日）に名簿作成、5日（月）に選挙管理委員の確認を経て、小川情報委員長にお送りし、ホームページに掲載した経緯でございます。

無効票の内訳は、未着が15通（105票）、中封筒無し7通（49票）、白票及び投票用紙切り離し（18票）の合計172票です。

安達幹事：詳細な報告ありがとうございました。約1割の無効票があったので、次回は無効票を減らす方法を考えていただきたい。

石井幹事：選挙人の意識の向上を図るように願いたい。

2. 確認・検討事項

1) 子宮の日の活動について

田路幹事：子宮の日の活動について、大阪府細胞検査士会の広報担当役員が、協賛企業を探した結果、三井住友海上あいおい生命が、女性のホルモンやがんに関する冊子とノベルティ提供の申し出があった。来春は大阪府単独で行うが、三井住友海上あいおい生命側から、大都市を経て、将来的には全国規模の活動を目指している。パンフレットなどを入れることで協賛金を得ることの議論を役員会で行っていただきたい。

河原渉外委員長：内容は田路幹事からお聞きしているが、役員会で議論していただきたい。

田路幹事：企業のパンフレットを配布物に入れることに対するご意見をお聞かせ願いたい。

石井幹事：本活動は細胞学会が後援なので、細胞学会の了承を得る必要があると考える。

お金が絡むと寄付行為に当たり、一旦、細胞学会に納める必要があるので、伊藤会長から細胞学会の理事会で諮ってもらいたい。

伊藤会長：個人としては、三井住友系の企業であり、検査士会とタッグを組むことはマイナスではないので、積極的に考えていきたいが、検査士会だけ拙速な判断は避けたい。明日、開催される日本臨床細胞学会理事会や理事長に打診をして意見を伺うと共に、検査士会役員の意見を頂ければと思います。

平田議長：この件に関して、メーリングリストでも結構ですので、ご意見ある方はよろしく願います。

三井住友海上あいおい生命より協賛の依頼があったが、日本臨床細胞学会の理事会で協賛を受けられるか伊藤会長より諮る。

2) 2019年子宮頸がんを予防する日について

河原渉外委員長：ポケットティッシュは予算的に配布できないが、渉外委員会の予算を増やして、ポケットティッシュを配布する案も考えられる。

石井幹事：ポケットティッシュが無くて受け取ってもらえるのか？どうしても必要なら、検査士会に予算を計上してもらったらどうか？

河原渉外委員長：経理的・予算的な事が絡むので、皆様のご意見をいただきたい。

阿部経理委員長：この活動が一般市民の為に役立つなら、細胞検査士会の予算が足りない訳ではないので、皆様方のご意見伺った上で、積極的に検討したい。

平田議長：来年度の活動なので、次の委員長会議までに予算をとる必要があるのでは？

河原渉外委員長：年末までに予算を立てます。

阿部経理委員長：予算を検討して、認められるようでしたら、来年の活動はできます。

伊藤会長：細胞学会から今まで通りのお金を出すことが出来ないと断られている。もう少し値段を下げたもので提案しようかと考えているが、細胞学会も厳しい状況である為、傾合いをみて提案したいので、ご理解いただきたい。

仲村庶務委員長：臨床細胞学会から5万円をいただいているが、実際、活動しているのは細胞検査士の方々なので、各都道府県代表者を通じて、各都道府県から寄付をいただければもう少し活動し易くなるのではないのでしょうか？

安達幹事：持ち帰って相談してみます。

石井幹事：東京都は、数年前から5万円出してもらい活動資金としています。

安達幹事：奈良県の細胞学会のイベントとして活動しています。

3) あり方委員会：正会員の権利向上に向けて

遠藤あり方委員長：あり方委員会の案としてあげさせていただきましたが、幹事の皆様から多くのご意見をいただいて、次回、あり方委員会の検討事項としたい。

安達幹事：都道府県代表者会議で集まった際、正会員、準会員の区別は絶対にしないと発言があった。当時の要望書にも同様に記載されている。正会員の意見も分かるが、残りの7,000人の準会員がどの様に考えているか意見を聞かなければならない。準会員と正会員を無くしては良いのではと思っているが、日本臨床細胞学会の細則に、講習会等の対象は細胞検査士となっており、準会員や正会員という文言はない。この細則を変更せずにこの様なことは大きな問題がある。2020年に伊藤会長が大きなイベントをする時に、正会員と準会員が対立するようなことはあってはならない。一枚岩で進んでいく時期にこのようなことは良いとは思わない。

平田議長：準会員を除くという話しではないですね？

遠藤あり方委員長：そうです。

安達幹事：300名くらいという区別を行うことはおかしい。反対です。

三浦幹事：どちらかという反対です。準会員が非常に多い状態で、準会員の話しを聞かないで、正会員のみを始めに募集することに関して如何なものかと考えます。平等ということを謳っている訳で、その中で正会員の権利向上とはどうかと思います。ワークショップ・セミナーに関しても同じお金を払って受講する訳なので、募集の機会を減らすことはあまり良くないと思います。

平田議長：確認ですが、正会員は準会員より多くのお金を払っているのに、メリットがないというアンケート結果からのものでしょうか？

遠藤あり方委員長：原田前あり方委員長時代に行ったアンケートの記述式部分に正会員になってもメリットが無い、何らかの優位性をいただきたいという意見を元にあり方委員会として動いております。

平田議長：準会員の方を排除している話しではなくて、そういう方向性が有るか無いかという話しなので、賛成か反対のご意見をいただきたい。

藤井幹事：記述式のアンケート中で、正会員のメリットが無いと回答されたのはどれくらいの割合・数かお分かりですか？正会員のメリットという言葉が使われていますが、そもそも正会員、準会員を選択する時に優先性についての話しは当初ありませんでした。学会の総会の出席・議決権、評議員・理事に成れるか成れないか、学会運営に携われるかどうかで正会員・準会員を皆さんが選択しているはずで、正会員のメリットという言葉を使って優位性を考えることなのかと思う。

原田規約委員長（前あり方委員長）：アンケートの回答は、細胞検査士会員の15%前後であったので、全員の意見を反映しているわけではないが、アンケートに答えるのも準会員より正会員多かった。具体的な数は把握していないが、時間をいただければ、詳細な数も調べられます。

藤井幹事：ホームページの結果をみると、準会員のままで、正会員には成りたくないという意見が9割を占める。少なくとも正会員・準会員を選択する際に一切なくて、あくまでも検査士としては同等であるという話しの中で、細胞検査士会から持ち出すことは少し話しが違ふと思う。正会員のメリットが無いと言われるのであれば、準会員を選ぶ選択肢も保証されている。正会員から準会員に成れない話ではない。少数意見で学会の細則に関わる話をこの役員会で決めるのはどうかと思う。

平田議長：決めるつもりは全くない。

藤井幹事：議論をする事がどうかと思う。

平田議長：会員の声がある以上、議論はしていただきたい。続きはメーリングリストでお願いします。

伊藤会長：この件に関して、あり方委員会にお願いした経緯もございます。日本臨床細胞学会が主催するセミナー・ワークショップ・細胞検査士養成講習会すべて細胞検査士が実施委員長を務めさせていただいており、さらには学会まで検査士が務めることとなります。今の状況の時に、我々は自分達がそこを変えるとか、そういう姿勢が必要ではないかと考え、あり方委員会に揉んで下さいと頼んだこともあります。具体的な案としては参加者の話がありますが、私自身、自分達細胞検査士が同じ土俵に上がる意気込みでいて欲しいし、役員会の役目でもあると思う。私自身、細胞検査士なので状況もよく分かっていますし、以前の公益社団法人に入る時の話もよく理解しています。ずっとこのままで良いのか、今一度この役員会の中で考えていただきたく、あり方委員会に揉んでもらったという経緯がございます。将来、細胞検査士の正会員を増やす為にどのような方策があるか真剣に考えていただきたい。継続的にご意見を申し上げます。

4) がん検診委員会：臨時委員会から常置委員会への変更について

平田議長：委員会業務分担要綱では、2018年（平成30年）度までなので、次回、役員会でどうするか規約の変更が必要になる。常置委員会にして良いのであれば、委員会業務分担要綱と委員会に関する細則変更の議案をがん検診委員会と規約委員会の共同で提出し、成立の運びとな

る。反対の意見であれば、臨時委員会の委員会業務分担要綱の期間を変更するという細則変更になります。

藤井幹事：臨時委員会から常置委員会への変更による違いはあるかどうか？常置委員会にしないといけない、若しくは臨時委員会のままでは駄目だという理由があるのかどうか知りたい。

今枝がん検診委員長：先程、説明した活動を継続的に行うことやがん検診の精度向上に取り組む為には、常置委員会で活動したほうが良いと思います。常置委員会になると、予算も委員会として明確に成りますし、今後の課題をクリアするには、備品購入、管理などを色々考えると常置委員会としたい。

平田議長：委員会に関する細則によると、臨時委員会とは、ある特定の事業を行うときに期間を区切って行うとなっています。継続的活動するものに関しては細則上では、常置委員会が望ましいと考えます。ここで確認されれば、確認されたことに従って次回役員会で議案の準備をお願いします。

今枝がん検診委員長：今回、日本養護教諭学会との事業を行ったが、今後、細胞検査士会として連携して行うかどうかによって、臨時か常置が関わってくると思う。

平田議長：特に反対が無ければ、常置委員会にする議案を準備していただいて、もしそれが否決されれば、臨時委員会として期間を延長する方向で次回、役員会の議案準備をお願いします。一応は常置委員会に変更する議案をがん検診委員会と規約委員会で二つの細則に関して準備をお願いします。

細胞検査士会
2019年度事業計画及びこれに伴う予算書

公益社団法人日本臨床細胞学会
細胞検査士会会長 伊藤 仁

1. 2019 年度事業計画

1) 本部

【目的】会員の細胞学的知識の向上，技術の研鑽ならびに，公益社団法人日本臨床細胞学会事業に協力し，細胞検査士の社会的地位の確立を図ることにより社会への貢献を図る

【予定・計画】

- ① 各委員会事業の計画，実施，進捗の管理 ② 各委員会事業の結果を会員へ報告
- ③ 公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告 ④ 総会の開催（1 回/年以上）
- ⑤ 役員会の開催（2 回/年以上） ⑥ 委員長会議の開催（1 回/年以上）
- ⑦ 日台韓細胞検査士合同セミナー開催（協力）

【会の公益活動について】

①『子宮の日』の活動をはじめとする会の公益活動において，その活動内容を公益社団法人日本臨床細胞学会に報告し理解を求める

【公益社団法人日本臨床細胞学会事業への協力】

- ① 各種委員会会務 ② 細胞検査士教育セミナー ③ 細胞検査士ワークショップ
- ④ 学術集会 ⑤ 細胞検査士資格認定試験 ⑥ 細胞検査士養成事業

2) 総務委員会

1. 総務委員会

委員会業務分担要綱に基づき，当会の円滑な運営に努める

① 事業計画・予算書の作成と管理

「2020 年度事業計画及びこれに伴う予算書」案作成後，2020 年 2 月中に役員会 ML で役員会決議する

② 事業報告・決算書の作成と管理

「2018 年度（平成 30 年度）事業報告及びこれに伴う収支決算書」を 2020 年度第 1 回役員会及び細胞検査士会定時総会議案と，「2019 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 案」を作成する

③ 総会，役員会，委員長会議の議案書作成と管理

定時総会，第 1 回と第 2 回役員会議案，委員長会議の議案書作成と配信

④ 各委員会間の情報伝達と業務調整

⑤ その他，他の委員会などが所掌せず，役員会が必要と認めた事項

3) 経理委員会（本会の会計管理を担当）

① 予算書の作成 ② 各委員会からの会計業務を調整し，学会へ会計の施行を依頼

③ 収支決算書の作成 ④ 監査を受ける ⑤ 会計に関する資料を学会へ送付

⑥ 役員会で予算・決算の報告，説明を行う ⑦ 総会および会報などにて要約した会計報告を行う

⑧ 備品台帳の作成・保管

4) 庶務委員会

① 各役員・委員委嘱状発送 ② 総会，役員会，委員長会議等の開催・運営

③ 役員会・各種会議の議事録作成・保管 ④ 公印の使用及び管理 ⑤ 資料の保管 ⑥ 慶弔業務

5) 規約委員会

各委員会からの要望を受け、本法人規則類に準じて細胞検査士会規則類の議案作成を行い、役員会、総会の決議によって定められた規則類を管理する。また各委員会の内規も各委員会とともに管理する。

6) 渉外委員会

- ① 子宮の日の活動：2018Love49 全国プロジェクト
- ② 2019 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
- ③ 子宮の日全国アクション-2019 報告会（日本臨床細胞学会総会；東京）
- ④ 日本臨床細胞学会総会および秋期大会（6 月，11 月）におけるパネル展示
- ⑤ がん患者大集会の会場協力
- ⑥ 細胞検査士会ホームページへの Love49 活動関連ページへの取り組み

7) 編集委員会

- ① 年2回の会報発行を引き続き行っていく。
- ② 会報の内容については、継続している記事に加え、新たに専門医に執筆をお願いする。記事については、編集委員会内で決定していきたい

8) 学術委員会

長期：学術情報の提供の充実と、細胞診用語の適正化

年度：

- ① 細胞学会時，細胞検査士要望教育シンポジウムの企画
- ② 細胞学会時，ヤングコミティーワークショップの計画と実行および支援
- ③ 細胞学会時，わからん会の企画
- ④ 細胞検査士教育セミナー実施協力，企画およびセルフアセスメント作製協力
- ⑤ 細胞検査士生涯教育ワークショップ（2 回/年）

その他：講師選択には一定の基準を定める（経験年数，評議員，正会員等）

9) 国際委員会

第 11 回日・台・韓細胞検査士合同セミナーを台湾にて開催。予算案はすべて第 11 回日・台・韓細胞検査士合同セミナーの経費

10) 情報委員会

- ① ctjsc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用
- ② 求人情報掲載の管理
- ③ Intercyto.com（インターネットサイトロジーHP）CMS システムの運用
- ④ 毎月の HP 更新内容を委員長 ML 及び役員会 ML に報告
- ⑤ 委員長会議，役員会会議及び都道府県代表者会議メーリングリストの管理

11) 都道府県代表者委員会

- ① 2019 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ② 2019 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者委員会
- ③ 2019 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ④ 2019 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者委員会

12) あり方委員会

- ① 2019 年度あり方委員会会議
 - ② 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策の検討
(細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップ受講に関する正会員優位性等を含む)
 - ③ 細胞検査士正会員を増やす方策の検証と広報活動 (方策の周知のためのアンケートなど)

平成 30 年度第 1 回細胞検査士役員会で確認した

- i) 細胞検査士教育セミナーと細胞検査士ワークショップにおける講師, 座長, 運営スタッフ
- ii) 日本臨床細胞学会総会, 秋期大会におけるプログラム委員, 座長, 細胞検査士会要望教育シンポジウムなど
- iii) 細胞検査士養成所/養成課程における講師における正会員の有意性を検証と広報活動

13) 精度保証委員会

- ① 「有資格者症例検鏡研修会 in 香川」 2019 年 4 月 14 日 (日) 60 名予定
- ② セミナー セルフアセスメント問題作成予定
 - ③ 細胞検査士養成ワークショップ開催予定
(非収益事業) 精度保証会議 (総会時), 第 1 回セミナー会議, 第 2 回セミナー会議,
(収益事業) 養成 WS 第 1 回, 養成 WS 第 2 回, 基礎 WS 第 1 回, 基礎 WS 第 2 回

2. 2019年度予算

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 2019年度 予算

細胞検査士会

収入の部

科目	金額	備考
参加費	3,224,000	細胞検査士養成ワークショップ(10,000円×190名)、初心者細胞検査士養成ワークショップ(4,000円×40人)、有資格者ワークショップ(5,000円×60名)、ワークショップ 60人×8,000円×2回(参加者9割で計上)
入会金、年会費口座より	8,309,140	2019年度予算案から 検査士更新(1,654人、5,000円) 第52回CT合格者(予測300人、7,000円)
郵送費、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	11,683,140	

平成30年度への繰越金内訳(円)	
銀行預金	8,234,830
記念事業	11,362,546
郵便振替	21,200,408
検査士会WS	4,335,132
現金	110,399

検査士更新(1,654名 5,000円) 8,270,000円
 第52回CT合格者予測(300名 7,000円) 2,100,000円
 総計10,370,000
 ※ 更新料5年分先払 1,000円×5年分 5,000円
 ※ 合格者→入会費2,000円+更新料5,000円 7,000円

支出の部

委員会 科目	管 理 費											事業費		合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術	
通信運搬費	5,000	40,000	307,800	2,000	70,000	1,410,000	220,000	1,000	-	5,000	30,000	40,560	10,280	2,141,640
旅費交通費	440,000	140,000	-	120,000	-	-	120,000	-	50,000	20,000	130,000	1,200,000	300,000	2,520,000
印刷製本費	50,000	-	-	-	-	1,600,000	450,000	-	-	100,000	-	1,100,000	-	3,300,000
消耗品費	20,000	20,000	-	5,000	5,000	50,000	520,000	-	-	5,000	20,000	8,000	190,000	843,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	8,000	100,000	-	-	-	-	-	-	-	108,000
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180,000	60,000	240,000
会議費	100,000	44,000	-	30,000	-	-	50,000	104,000	20,000	20,000	20,000	220,000	144,000	752,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000	330,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
接待交際費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,000	-	520,000	360,000	900,000
雑費	320,000	-	5,000	2,000	5,000	-	-	1,500	5,000	10,000	-	100,000	40,000	488,500
合計	1,285,000	244,000	312,800	159,000	98,000	3,160,000	1,360,000	106,500	75,000	180,000	200,000	3,368,560	1,134,280	11,683,140

支出合計	11,683,140
------	------------

以上の通り、2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の細胞検査士会予算案を計上します。

2019年1月27日 細胞検査士会 会計担当 阿部 仁

同 会長 伊藤 仁